

# 平成25年度第2回南相馬市公共事業評価結果

2	事務事業名	社会資本整備総合交付金事業（復興）	担当課	建設部土木課
---	-------	-------------------	-----	--------

事業の目的	対象	誰に、何に対して働きかけるのか 当路線周辺住民及び通過車両 地区人口（北海老・港・北屋形・南柚木・永渡行政区）296世帯、1,062人(H25.10.31現在 住民基本台帳 )
	意図	対象がどのようになることがねらいなのか 歩車道の分離と交通の隘路区間の解消を図ることで、当路線周辺住民及び通過車両が安全に通行できるようになるとともに、災害時の避難道路として利用できるようになる。
	結果	どのような結果をもたらすのか 当路線の整備により、市民生活上の利便性が向上するとともに、緊急時における防災拠点（区役所、生涯学習センター等）及び医療拠点（二次・三次救急医療施設）へのアクセス道が確保される。

手段	市道1級7号線外の改良舗装を行う。 L=6,000.0m W=6.0(10.0)m 事業費 C=1,800,000千円 H26年度：測量設計、地質調査 L=6,000m H27年度：用地補償 H27～H35年度：用地補償、整備工事	事業費（千円）	平成26年度まで	94,500
		平成27年度まで	180,000	
		平成28年度まで	180,000	
		平成29年度まで	180,000	
		平成30年度まで	180,000	
		総事業費	1,800,000	

担当課による自己評価	必要性	市民ニーズはあるか 地域住民を中心に当路線の道路改良を望む声は多く、市民ニーズがあると認められる。 整備要望書の提出あり（八沢地区ほ場整備計画推進委員会委員長、北屋形行政区長、港行政区長、南柚木行政区長）。
	行政関与	市が積極的に関与すべき事業なのか 市道の道路改良事業であり、市が実施する事業である。
	有効性	成果の期待度 どのような効果が期待されるか 当路線の整備により、利用者が安全に利用できるようになる。
	その他	優先性等 南相馬市において、沿岸部と内陸を結ぶ重要な路線のうち国道6号東側で2車線の道路がない地区は八沢地区のみであること、また、災害時の避難道路を一刻も早く確保しなければならないことから、特に優先的に実施しなければならない事業である。 また、平成25年度～27年度にかけて実施される八沢地区ほ場整備事業との連動を図ることができるため、緊急性が高い。
	総合評価	必要性・有効性が共に認められる。

行政評価委員会評価結果（内部評価）	
総合評価	必要性・有効性・優先性を認める。
付帯意見	なし。

## 平成 2 5 年度第 2 回南相馬市公共事業評価結果

公共事業評価委員会評価結果（外部評価）	
総合評価	必要性は認めるが有効性は認められない。
付帯意見	<p>( 1 ) 避難道路を確保するという点では必要性が認められるが、現状の計画では直角路が隘路になり兼ねず、有効性が認められない。このため、農地の区画に捉われない改善が必要であり、道路法線を再検討し、利便性を高めること。</p> <p>( 2 ) 有効性については、避難道路としてのみの整備となると、まちづくりの観点から有効性が十分にあるとは認められない。有効性を高めるため、南相馬の観光、産業等の発展を踏まえ、将来的な海岸沿線の整備事業とともに連動して計画を進めること。</p>
対応方針	<p>( 1 ) 道路計画については、平成 2 6 年度設計委託時に、ほ場整備及び地元との調整を図り、検討していきたい。</p> <p>( 2 ) 本路線は、避難道路としてだけでなく、鹿島スマートインターチェンジから海岸部へのスムーズな誘導を行うための重要な路線ととらえており、供用開始に合わせて案内板の設置や観光マップの表示を行うなど、本路線がさらに有効に利用してもらえるような方策を検討することとする。</p> <p>( 平成 2 6 年 3 月議会に予算計上し、承認された。 )</p>